



第13回 東京女子医大 総合診療セミナー

Point-of-Care 超音波入門その2 Lung Ultrasound (肺エコー)

ブラウン大学 南 太郎 准教授/ブラウン大学医学部 内科准教授・医科学准教授/
Care New England 集中治療室部長
Care New England 内科 Medical Simulation and Point-of-Care Ultrasound
Training 部長
京都大学医学部 臨床教授
東京女子医科大学 客員教授

南太郎氏は1998年に京都大学医学部を卒業後、2003年からアメリカ・ニューヨークのBeth Israel Medical Centerで内科研修を始め、ブラウン大学医学部で内科チーフレジデントを経た後、呼吸器・集中治療の専門研修を経て、2010年よりブラウン大学内科（呼吸器・集中治療科）Memorial Hospital of Rhode Island (MHRI)の指導医に就任。その後、ブラウン大学医学部内科助教授とシミュレーション・超音波トレーニング部長を歴任し、2013年に京都大学医学部の臨床准教授、2015年には呼吸器・集中治療フェローシップ・サイトディレクターに就任。2017年からは同大学医学部内科（呼吸器・集中治療科）MHRIのICU部長を務め、更に2018年よりブラウン大学医学部の内科准教授と京都大学医学部の臨床教授に昇任。2019年には東京女子医科大学の客員教授とCare New England内科のシミュレーション・Point-of-Care 超音波トレーニング部長に就任。南太郎氏の専門は呼吸器・集中治療で、特にPoint-of-Care 超音波教育において国際的に活躍。米国内では米国内科専門医機構(ABIM)の出題委員、超音波認定コース認定委員や様々な超音波トレーニングコースのディレクターとして活躍、日本でもJHospitalist Networkの超音波コースCo-Directorやケアでの超音波指導など国際的にも多角的な活動を展開している

Point-of-Care 超音波とは、現場の医師が自分の患者に対してベッドサイドで行う超音波のことであり、さらにその所見を自分で解析しながら目の前の患者さんに応用していく方法論である。このシリーズ第2回目の今回は「肺エコー」(Lung Ultrasound)について解説していく。肺エコーは、肺の状態をリアルタイムで評価し、肺水腫、肺炎、気胸、肺塞栓症などの診断を支援する。高い感度と特異性を持ち、特に急性疾患の管理に有用である。この肺エコーを5つほどの基本的な所見から解説していく。

参加費無料

Zoom開催

事前登録制

対象 総合診療に興味のある医師・学生・コメディカル

日時 2023年7月19日(水)

19:00~20:30

参加方法 QRコードよりお申し込みください

* 読み込めない方は下記URLよりお申し込みください

* 必ずではございませんが、日本プライマリ・ケア連合学会の生涯学習単位（医師・薬剤師）が付与されます。

* お問い合わせ先：東京女子医科大学 総合診療科医局

<pcc-ikyoku.br@twmu.ac.jp>

* ZOOM <03-3353-8111 内線：37312>

https://zoom.us/meeting/register/tJ0kfuiuqjMiG90Ywnwxh_UMT

[VHBpbGsamlK](https://www.twmu.ac.jp/vhbpbgsamlk)

